

事業所名 オリーブハウス(児童発達支援)

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

24日

法人(事業所)理念		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの願いに寄り添い、自発性を尊重する。 ・多様な集団の中で社会性を育み、生きる力を付ける。 ・ご家族の気持ちに寄り添い、一緒に子どもを育てる。 ・発達の目を育む、子どもたちの第三の居場所を創る。 						
支援方針		<p>①自立支援：子どもたちが自発的に行動できるためのサポートを第一とし、喜びや嬉しさを共有する時間を大切に行動します。</p> <p>②人権尊重：ひとりひとりの人権を尊重し、個性を大切に考えます。子どもたちの行動・考え方の理解に努め、ありのままを受け止めます。</p> <p>③地域貢献：地元地域の方へ向けた支援事業であることを認識し、地域社会への貢献を常に意識した行動をします。</p>						
営業時間		平日 13時00分 休日 11時00分	から	17時30分	まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・微細運動を遊びの中に取り入れながら、お箸やボタン留め等、身辺自立に向けての土台作りを行います。 ・就園・就学に向けて、整理整頓・荷物の準備、挨拶、手洗いなどの生活習慣を身に付けます。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・身体を動かす楽しさを味わいながら、体力の向上や姿勢の保持、歩く、走る、ジャンプする等の粗大運動を、遊びを通して楽しみながら行います。 ・ムーブメント遊びでは、さまざまな道具を使って、子どもが自ら参加し、動きたくなる活動を行い、身体運動、感覚機能、認知機能の発達を目指します。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で、数や形、色などに触れていき、概念形成を楽しく習得していきます。 ・文字や数字に興味を持てるように、遊びやルールの中にも取り入れながら、お友達と楽しみながら学んでいきます。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の会話や絵本に親しみながら、言葉の使い方や物の名前等に触れていきます。 ・先生やお友達との関わりの中で、伝わることの嬉しさをしっかり感じ、自分の思いを伝えられるように練習します。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・先生やお友達との関わりの中で人への興味を引き出し、集団への参加をするためのルールを学んでいきます。 ・お友達との遊びの中で「できた!」と感じる経験を積み、自信や学びにつなげていきます。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・年2回個別面談を実施。 ・送迎時や電話で相談や助言。 ・保護者が参加可能な講座の実施。 ・ごきょうだいが参加可能なイベントの実施。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・進路の選択について本人や家族への情報提供や相談援助 ・地域住民を招いての行事を通して、交流を図れるよう支援します。 	
地域支援・地域連携		相談支援事業所、学校、児童が利用する他事業所等と連携を取り、情報共有をします。			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・面談(年1回) ・外部研修(適宜) ・ミーティング(適宜) 	
主な行事等		初詣、おもちつき大会、夏の水遊び、流しそうめん、すいか割り、ハロウィン、クリスマス会、運動会						